

南陽ロータリークラブ

南陽市に避難されている方々と一緒にお雛祭りを楽しみたいと、26年2月23日に「レッツファミリー おもちつき」を開催しました。会場には大きな雛壇を飾り、両脇には桃の花、菜の花をあしらひ、華やかな雰囲気の中で開催しました。「親子で遊ぼう」では千代紙でお雛様を折り、厚紙に貼って雛飾りを作りました。また、しどけで縦笛を作り、音を出して楽しんだり、紙芝居や民話を聞いてロータリー会員と一緒に和やかな時間を楽しみました。

南陽東ロータリークラブ



26年2月16日、南陽市のえくぼ祭りに合わせて「復興支援コンサート」を開催しました。2月15日の大雪、東京からの新幹線が大混乱する中、大船渡出身の歌手・濱守栄子さんを迎えてのコンサートでしたが、えくぼプラザの会場は満席で、熱狂の中大変有意義な会となりました。当日、来場された避難者の皆さんにはお米を配らせて頂きました。残念ながら、当日来られなかった方には、南陽市危機管理の担当の方より、各家庭訪問の折に届けて頂きました。ご支援いただいた地区内ロータリアンの皆様に心より御礼申し上げます。

長井・長井中央ロータリークラブ

26年4月23日、長井・長井中央ロータリークラブの合同事業を行いました。長井クラブは、昨年11月、今年3月にも避難者との親睦事業「フォーラム例会」を開催していますが、今回は、避難者農場・福幸ファーム（NPO法人レインボープラン市民農場）を支援するために長井中央クラブと合同観桜会を開催。その席で同ファームに支援金を贈呈し、その後、両クラブのメンバーと15名の避難者の皆さんは楽しくひと時を過ごしました。懇親会では、オカリナ演奏、バルーンアート、餅つきなどが行われ、子どもたちの遊びまわる姿と、それに向けられた親御さんたちの笑顔が印象的でした。避難者支援の一翼を担えたものと考えています。

ガバナー公式訪問を終えて



西川月山RC 幹事 伊藤 幸廣

10月16日、当クラブは、新関彌一郎ガバナーの公式訪問をいただきました。午前中は、ガバナーと地区幹事、早坂第四ブロックガバナー補佐並びに当クラブ会長、幹事の会議が持たれ、少人数（現在、会員数19名）ではあるが、よくやっているという感想をいただき、次の点について指導いただきました。

- ①定款・細則の改正があり、それを整備し、現行では、クラブ定款・細則を別冊としているが、年次報告・計画に掲載したほうが会員にとってもよいのでは。
- ②補助金を未活用だが、事業内容からみても、十分に利用できると考えられる。是非活用して欲しい。
- ③職業分類表が以前からのままであり、脱会会員のまま残っているが、クラブとして、これから加入いただきたい方の職業を掲載するのが望ましい。
- ④会報発行の際に、フォーマットを定型化したらどうか
- ⑤ロータリーを広く理解いただくために、「ロータリーの友」を公共施設などへ寄贈し、見ていただくのも、一つの方法なのでは

などのアドバイスいただきました。ともすれば、ガバナーは、我々会員にとっては遥かに仰ぎ見る感が強いというのが正直な感想ではありますが、今回の訪問では、少人数のクラブについて率直な感想やアドバイスをいただき、ガバナーという役職がかなり身近に感じられたというのが率直な感想でした。公式訪問、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。